

平成21年12月25日

技術職員の募集について

東京大学大学院農学生命科学研究科では、平成22年4月1日より、附属農場、附属緑地植物実験所及び附属演習林田無試験地を統合し、新しい組織、附属生態調和農学機構を設置する予定です。つきましては、下記の要領で技術職員の募集を行います。

記

1. 募集職種：技術職員 1名
2. 勤務場所：
附属生態調和農学機構（東京都西東京市緑町1-1-1）
3. 業務内容：
 1. 附属生態調和農学機構で行われている教育及び研究の支援。
【主な具体例】
 - 附属生態調和農学機構内で栽培、植栽及び飼育されている研究用、教育用及び景観保全用の動植物の管理とそれに付随する作業。
 - 附属生態調和農学機構の教育研究用施設（圃場等を含む）及び機械類の管理とそれに付随する作業。
 - 附属生態調和農学機構で実施されている実習の指導支援。
 - 附属生態調和農学機構で行われている研究の支援。
 2. 附属生態調和農学機構の運営に関する指定された業務。
4. 採用予定時期：平成22年4月1日以降
5. 受験資格：
 - 1) 農学（栽培学・作物学・園芸学・作物栄養学・土壌肥科学など）に関する専門知識を有していること。
 - 2) 四年制大学の農学系学部、独立行政法人農業者大学校または道府県立農業大学校（同等のものを含む）のいずれかを卒業していること。
 - 3) 普通自動車運転免許を有すること。大型特殊自動車運転免許、牽引免許（何れも農耕車）、小型特殊自動車運転免許を有することが望ましい。
 - 4) 車輛系建設機械（整地等）及びフォークリフトの労働安全衛生法による技能講習修了の資格を有することが望ましい。
 - 5) 危険物取扱者免状の資格を有することが望ましい。

※ただし、次の者は試験を受けられません。

 - 1) 成年被後見人及び被保佐人（準禁治産者を含む）
 - 2) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終えるまでの者、又はその刑の執行猶予の期間中の者、その他その執行を受けることがなくなるまでの者
 - 3) 懲戒解雇又はこれに相当する処分を受けたことのある者で、その処分の日から2年を経過して

いない者

4) 日本国籍を有しない者で、永住等日本国内における活動等に制限のない在留資格を有しない者

6. 応募期限：平成22年 1月25日（月）必着

7. 応募書類：

- 1) 履歴書（市販のものでよい）
- 2) 大学等の卒業（見込）証明書または成績証明書
- 3) 資格の取得証明書の写
- 4) 健康診断書（6ヶ月以内に発行されたもの）
- 5) 大学等卒業以降の実務経験の具体的な内容（実務経験のある場合）
- 6) 附属生態調和農学機構での教育及び研究の支援業務に関する抱負（2000字程度）*

応募書類は返却しません。

* 附属生態調和農学機構は平成22年4月に発足する新しい組織のため、ホームページに情報が掲載されていません。応募書類の作成に際しては、東京大学農学系総務課人事チームあてに電子メールで情報を請求してください（あて先は下記10参照）。

8. 試験日程等：

書類審査のうえ、追って実技・口述試験について通知します。

- 1) 実技・口述試験： 2月上旬予定（附属農場にて実施予定）
- 2) 最終内定： 3月上旬予定

9. 勤務条件（<http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/per/per1/saiyohp/conditions.html>）：

- 1) 勤務時間：午前8時30分から午後5時15分
- 2) 休日：土曜日、日曜日（完全週休2日制）、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 3) 休暇
 - ①年次有給休暇
自己都合で休むとき。
採用月日によって2日から20日の間で付与されます。残日数は20日を限度として翌年に繰り越すことができます。
 - ②病気休暇
病気やけがの療養のため、必要と認められる期間休むとき。
 - ③特別休暇
特別な事由により休むとき。
夏季休暇（3日間）、結婚休暇（5日間）、産前休暇（6週間）、産後休暇（8週間）、ボランティア休暇（5日間）、忌引休暇（親族関係によって最高7日間）等。
- 4) 育児休業
満3歳に達する日までの子を養育している職員は、承認を受ければ職種・性別を問わず、子が3歳になるまで職員の身分を保有したまま子育てに専念することができます。ただし、休業期間中は無給となります。
- 5) 介護休業

配偶者、子、父母、配偶者の父母等が負傷、疾病または身体上、精神上の障害により2週間以上にわたり介護を必要とする場合に、6ヶ月の期間内で取得することができます。ただし、休業期間中は無給となります。

6) 初任給

- ・ 4年制大学新卒者 約20万円（教育研究連携手当を含む）
 - ・ 大学院（修士課程）修了者 約21万円（教育研究連携手当を含む）
 - ・ 大学院（博士課程）修了者 約23万円（教育研究連携手当を含む）
- ※ただし、本人の学歴や職歴に応じてこれより高く決定される場合もあります

7) 諸手当

【扶養手当】

扶養親族のある職員に毎月支給されます。

- ・ 配偶者 13,000円
 - ・ 配偶者以外 6,500円
- ※配偶者がいない場合 1人目 11,000円

【住居手当】

借家・賃貸アパート等に住んでいて月額12,000円を超える家賃を支払っている職員、

- ・ 借家・賃貸アパート等 家賃の額に応じて最高27,000円支給
（家賃55,000円以上の負担の場合27,000円）

【通勤手当】

通勤に鉄道・バス・自動車等を使用している職員に支給されます。

- ・ 鉄道 6箇月定期券の価額（6箇月毎支給）
- ・ バス 回数乗車券（バスカードを含む）により算出した1箇月あたりの
 運賃額（毎月支給）
- ・ 自動車等 使用距離に応じた額（毎月支給）

【教育研究連携手当】

俸給と扶養手当の16／100が毎月支給されます。

【期末手当及び勤勉手当】（賞与相当）

基準日（6月1日及び12月1日）に在職する職員に支給されます。

10. 応募書類送付先及び問合せ先：

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学農学系総務課人事チーム

TEL：03-5841-5030、5007 E-Mail：jinji@ofc.a.u-tokyo.ac.jp

（封筒に「大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構技術職員応募書類」と朱筆し、簡易書留で送付してください。）

11. その他：

本研究科・学部、附属農場、附属緑地植物実験所、附属演習林田無試験地の概要等は下記のホームページを参照してください。附属生態調和農学機構は平成22年4月に発足する新しい組織のため、ホームページに情報が掲載されていません。応募書類の作成に際しては、東京大学農学系総務課人事チーム（上記10参照）あてに電子メールで情報を請求してください。

研究科・学部：<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/index.html>

附属農場：<http://www.fm.a.u-tokyo.ac.jp/>

附属緑地植物実験所 : <http://ge.a.u-tokyo.ac.jp/>

附属演習林田無試験地 : <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/tanashi/index.html>